

横浜 荘田にある衣食住のナチュラルライフスタイルショップ「インターナチュラルガーデン プランツ」は食品、カフェ、レストラン、雑貨、衣料、ギャラリーや住まいの相談コーナーなどすべてがナチュラル＆オーガニックをテーマにしたお店が並ぶ。倉庫を改装し全体を珪藻土で塗り込んだ店内はまさに有機空間。

ここに並ぶ野菜には、独自のトレーサビリティー表示がされ「農薬」「肥料」「種」そして生産者などのデーターがわかるようになっている。

珪藻土の壁、竹の床、無農薬の食材、オーガニックの畳、和紙を使用した嚴選された自然素材の和空間。

珪藻土の壁、竹の床、無農薬の食材、オーガニックの畳、和紙を使用した厳選された自然素材の和空間。

東京 銀座に現れた、今話題の「旅館お宿『銀座吉水』はまさに都会のオアシス。

珪藻土の壁、竹の床、無農薬の食材、オーガニックの畳、和紙を使用した厳選された自然素材の和空間。

「何が良いかって、ここは空気の質が違うのよ。お客さんがついつい長居してしまうのよ」と話す女将の言葉に、いつもの自分の言葉をだぶらせ、ちょっと嬉しくなる。



エコスタイルショップ 素材自店 外観

写真上段／
インターナチュラルガーデン プランツ
<http://www.naturalharmony.co.jp/>

写真中段／
お宿 銀座吉水
<http://www.yoshimizu.com/>

写真下段／
エコスタイルショップ 素材自店
JR学園都市線百合が原公園駅 徒歩5分
tel. 011 774 8599
<http://www.saijo-d.com>

profile

Masayuki Saijo
西條 正幸

エコロジーデザイナー。
1960年伊達市生まれ。
札幌を中心にナチュラルスタイルの店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。自然素材にこだわった新築、リフォームの設計、施工会社「西條インテリアデザイン」代表取締役。エコスタイルショップ「素材自店」店主。



エ / コ / ロ / ジ / 一 / 建 / 築 / 工 / 房

一級建築士事務所
有限公司 西條インテリアデザイン

本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1 伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel. 011 774 8599 fax. 011 774 8581 tel. 0142 22 0138 fax. 0142 22 0139
e mail: eco@saijo-d.com e mail: bau@saijo-d.com

<http://www.saijo-d.com>



call number
資料請求番号
ハガキで資料を取り寄せられます。

eco2 お宿 銀座吉水

札幌にも自然素材にこだわった住まいづくりをサポートするエコスタイルショップがあるのをご存じだろうか？

化学物質に頼らないオーガニック空間を実現するための厳選エコ素材を見て、触れて、匂いも確かめる。北海道産の塗り壁材とナチュラルフローリング。自然健康塗料と無添加接着剤。オーガニック木質チップを燃料とするベレットストーブなどが小さなスペースに並ぶ。又、無垢のパイン材でオーダー家具やキッチンの製作もやっている。素材の購入だけでも良いが、新築・リフォームの相談は予約をした方が良い。

今年から定期的にエコスタイル住宅セミナーも行う。

eco1 インターナチュラルガーデン プランツ

横浜 荘田にある衣食住のナチュラルライフスタイルショップ「インターナチュラルガーデン プランツ」は食品、カフェ、レストラン、雑貨、衣料、ギャラリーや住まいの相談コーナーなどすべてがナチュラル＆オーガニックをテーマにしたお店が並ぶ。

倉庫を改装し全体を珪藻土で塗り込んだ店内はまさに有機空間。

ここに並ぶ野菜には、独自のトレーサビリティー表示がされ「農薬」「肥料」「種」そして生産者などのデーターがわかるようになっている。

ecology sozaijiten

健康住宅、自然素材ブーム、その先にあるもの

究極のオーガニック空間を求めて

文／西條 正幸



国産パイン材の家

昨今、狂牛病や鳥インフルエンザの発生により食の安全に対する不安は増すばかり。こんな時代だからこそ私たち消費者が生産、加工、流通過程を把握できるトレーサビリティシステムの大切さを感じる。

健康指向は心身の健康から食材そして住環境へと移行し空前の自然素材ブームを感じる。

思えば7年前、家づくりを始めたころには健康建材は認知されておらず、種類も情報も決して多くなかつたと思う。ここ2、3年でさまざまな健康を取りにした素材が現れてきて、消費者にとってどれを選ぶか、何が正しいのかまったくわからない。

私はこれをサプリメント状態と言っている。実は私もサプリ愛好家の一人だが何が良い

のか：本当に効果があるのか：あまり実感がないのだ。要は心身が健康であれば良い訳であるから、住まいづくりにもサプリメントに頼らなければいい健康で自然な住まいの姿があるはずだ。健康住宅や自然素材は本来住まいに潜む化学物質や農薬を排除するための手段や総称であるべきだが何の基準もなければ、消費者は正しく判断することが出来ないのではないだろうか。

住まいのトレーサビリティシステムを推進する動きもある。住まいを食品と同じように考えることは悪いことではないと思う。厳選された自然素材で構成されたナチュラル・オーガニック空間は衣・食・住の健康をささえるうえでもなくてはならない。

究極のオーガニック空間に触れる旅に出てみた。

衣食住の健康

横浜 荘田にある衣食住のナチュラルライフスタイルショップ「インターナチュラルガーデン プランツ」は食品、カフェ、レストラン、雑貨、衣料、ギャラリーや住まいの相談コーナーなどすべてがナチュラル＆オーガニックをテーマにしたお店が並ぶ。倉庫を改装し全体を珪藻土で塗り込んだ店内はまさに有機空間。

ここに並ぶ野菜には、独自のトレーサビリティー表示がされ「農薬」「肥料」「種」そして生産者などのデーターがわかるようになっている。

珪藻土の壁、竹の床、無農薬の食材、オーガニックの畳、和紙を使用した嚴選された自然素材の和空間。

珪藻土の壁、竹の床、無農薬の食材、オーガニックの畳、和紙を使用した厳選された自然素材の和空間。

東京 銀座に現れた、今話題の「旅館お宿『銀座吉水』はまさに都会のオアシス。

珪藻土の壁、竹の床、無農薬の食材、オーガニックの畳、和紙を使用した厳選された自然素材の和空間。

「何が良いかって、ここは空気の質が違うのよ。お客さんがついつい長居してしまうのよ」と話す女将の言葉に、いつもの自分の言葉をだぶらせ、ちょっと嬉しくなる。



エコスタイルショップ 素材自店 外観

写真上段／
インターナチュラルガーデン プランツ
<http://www.naturalharmony.co.jp/>

写真中段／
お宿 銀座吉水
<http://www.yoshimizu.com/>

写真下段／
エコスタイルショップ 素材自店
JR学園都市線百合が原公園駅 徒歩5分
tel. 011 774 8599
<http://www.saijo-d.com>

profile

Masayuki Saijo
西條 正幸

エコロジーデザイナー。
1960年伊達市生まれ。
札幌を中心にナチュラルスタイルの店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。自然素材にこだわった新築、リフォームの設計、施工会社「西條インテリアデザイン」代表取締役。エコスタイルショップ「素材自店」店主。



エ / コ / ロ / ジ / 一 / 建 / 築 / 工 / 房

一級建築士事務所
有限公司 西條インテリアデザイン

本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1 伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel. 011 774 8599 fax. 011 774 8581 tel. 0142 22 0138 fax. 0142 22 0139
e mail: eco@saijo-d.com e mail: bau@saijo-d.com

<http://www.saijo-d.com>



call number
資料請求番号
ハガキで資料を取り寄せられます。

eco2 お宿 銀座吉水

札幌にも自然素材にこだわった住まいづくりをサポートするエコスタイルショップがあるのをご存じだろうか？

化学物質に頼らないオーガニック空間を実現するための厳選エコ素材を見て、触れて、匂いも確かめる。北海道産の塗り壁材とナチュラルフローリング。自然健康塗料と無添加接着剤。オーガニック木質チップを燃料とするベレットストーブなどが小さなスペースに並ぶ。又、無垢のパイン材でオーダー家具やキッチンの製作もやっている。素材の購入だけでも良いが、新築・リフォームの相談は予約をした方が良い。

今年から定期的にエコスタイル住宅セミナーも行う。

eco1 インターナチュラルガーデン プランツ

横浜 荘田にある衣食住のナチュラルライフスタイルショップ「インターナチュラルガーデン プランツ」は食品、カフェ、レストラン、雑貨、衣料、ギャラリーや住まいの相談コーナーなどすべてがナチュラル＆オーガニックをテーマにしたお店が並ぶ。

倉庫を改装し全体を珪藻土で塗り込んだ店内はまさに有機空間。

ここに並ぶ野菜には、独自のトレーサビリティー表示がされ「農薬」「肥料」「種」そして生産者などのデーターがわかるようになっている。

ecology sozaijiten

健康住宅、自然素材ブーム、その先にあるもの

究極のオーガニック空間を求めて

文／西條 正幸



国産パイン材の家

昨今、狂牛病や鳥インフルエンザの発生により食の安全に対する不安は増すばかり。こんな時代だからこそ私たち消費者が生産、加工、流通過程を把握できるトレーサビリティシステムの大切さを感じる。

健康指向は心身の健康から食材そして住環境へと移行し空前の自然素材ブームを感じる。

思えば7年前、家づくりを始めたころには健康建材は認知されておらず、種類も情報も決して多くなかつたと思う。ここ2、3年でさまざまな健康を取りにした素材が現れてきて、消費者にとってどれを選ぶか、何が正しいのかまったくわからない。

私はこれをサプリメント状態と言っている。実は私もサプリ愛好家の一人だが何が良い

のか：本当に効果があるのか：あまり実感がないのだ。要は心身が健康であれば良い訳であるから、住まいづくりにもサプリメントに頼らなければいい健康で自然な住まいの姿があるはずだ。健康住宅や自然素材は本来住まいに潜む化学物質や農薬を排除するための手段や総称であるべきだが何の基準もなければ、消費者は正しく判断することが出来ないのではないだろうか。

住まいのトレーサビリティシステムを推進する動きもある。住まいを食品と同じように考えることは悪いことではないと思う。厳選された自然素材で構成されたナチュラル・オーガニック空間は衣・食・住の健康をささえるうえでもなくてはならない。

究極のオーガニック空間に触れる旅に出てみた。

衣食住の健康